

県医労新聞

2010年8月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行 1842号(月刊57号)



141名が参加した第36回岩手県医療研究集会（7月17日 水産会館）

－ 目 次 －

- 1～5P 第66回定期大会特集
- 6P 東北人事院要請行動
支部定期大会
- 7P 岩手県医療研究集会
- 8P 全国医療研
地域医療を守る全県交流集会
- 9～10P 女性部ニュース
- 11P 青年部ニュース
- 12P つぶやき、とんがらし
6月号パズル当選者
- 13P 職場川柳、懸賞パズル
8・9月の予定
ろうきんポイント制度



睡眠のメカニズムについて講演する
佐々木司さん

22支部のこころひとつに サービス残業のない働きやすい職場を

県医労第66回定期大会

県医労第66回定期大会は6月18、19日の2日間、盛岡市つなぎ「ホテル大観」で開催されました。21支部から代議員・オブザーバーあわせて130名が参加。すべての議案を採択し、今年度の活動方針を決定しました。

第一号議案

2009年度財政報告 並びに会計監査報告

財政報告に対する質疑討論はありませんでした。会計監査委員から口頭で2%カットの影響や新入組合員の加入状況について触れ、組織拡大に務める事が指導されました。

第二号議案

2010年度運動方針

超過勤務・36協定

〇〇〇〇 代議員（千厩）



病棟再編成後、日勤者が24時に帰っている。ほぼ満

床で業務が濃くなり、さらに病休者も出ている。始業前の情報収集を超過勤務として書いたら、8時30分から情報収集するよう言われ、書きにくい。増員なくては解決できない。

〇〇〇〇 代議員（久慈）



「20時間以上超過すると組合に怒られる」「病院が赤字」と吹聴され、超過を書きにくい。超過が長いと入院患者や、検査を減らせ

と言うが、それでは地域医療は守れない。

〇〇〇〇 会計監査委員（磐井）



36協定締結後、事務局長交渉を行い、5月6月の20

時間超えの名簿を提出させ

たが、看護師4名のみで実態とかけ離れている。全員で超過を書く取り組みをしていきたい。年次も取れないぎりぎりの人員で9回夜勤も発生した。

〇〇〇〇 代議員（大槌）



20時間超えが私一人だった。一人に負担が掛かって

いることは問題と師長にいわれ、「不払い労働はしたくない、他の人も残って仕事をしているが超過を書いていない。私だけ負担がかかっているとの指摘は実態とかけ離れている」と答えた。本部は支部の実態を把握し、各病院への指導の強化をしてほしい。

〇〇〇〇 代議員（中央）



土曜日の日勤後、新採用者に超過を書くこうと声をか

けると泣き出した。非組合員

の先輩に書くと言われたと話された。超過を書いたら師長に消された。労働者の権利を知り、みんなで使おう。

〇〇〇〇 代議員（釜石）



16時に勤務状況をリーダーが師長に報告しなければ

ならないことがあった。今はなくなった。まだまだ人手不足である

〇〇〇〇 代議員（三戸）



始業前の超過を事務局長交渉でOKをもらっていたが、超

勤簿に請求したら、師長に追及された。組合が協力して対応した。検査、薬局、X線技師の組合加入が難しい。

〇〇〇〇 代議員（中央）



事務局長交渉で電カル操作研修は超過対象としてよ

いとのこと。その際、深

○ ○ ○ ○
代議員（江刺）



9
回
夜
勤

代議員（久慈）
9回夜勤は翌月返すよう働きかけている。



代議員（南光）
ほぼ毎月9
回夜勤が発生
している。翌
月には、返し

○ ○ ○ ○
代議員（大船渡）



9 回夜勤発
生はあるが、
翌月には返さ
れていない。



4 月も 5 月も 9 回夜勤が発
生し外来から病棟応援に行
くため外来が不足する。超
過勤務は部署や師長によ
り、書けないところがある。
師長がわかっていない。

組織拡大



〇〇〇〇〇
代議員（中央）

新採用の組織拡大は4月の中部の経験に学んで、17時30分から20分程度実施。ケーキを準備し、本部から講師を依頼して行い、現在10名が加入している。組合費が加入のネックになって

○ ○ ○ ○ ○
代議員（中部）



加入説明会
は2病棟ず
つ、佐々木委
員長の応援で

○ ○ ○ ○
代議員（磐井）



歓迎会に参加した8名がその場で全員加入した。そ

○ ○ ○
代議員（山田）



新採用4名
加入したが、
忙しくて、活
動できていな
い。今後活発
にしていきたい。

支部活動

○ ○ ○ 代議員（高田）



ここ数年停
滞していた
が、役員を選
出し、新執行
部で活動を始めた。早朝
集会、年末決起集会、旗
開き、そして、2月に団
交を申し入れ、3月に団
交を行った。また不当内
示に対し、1件について
撤回させた。

大会議長の千厩支部〇〇〇〇さん（左）と
胆沢支部の〇〇〇〇さん（右）



組合加入説明
会をキーキを用
意し行い、2名
の加入があつ
た。臨時看護師
が「長く臨時と
して働いてき
た。待遇がよく
なったのは組合
のおかげ、感謝
する」と言つて
加入してくれた
のは涙が出るほ

憲法に保障されているスト権はスト権投票し、スト権を確立して上での団体署名で意思統一を。36協定はサービス残業にならないよ

うな取り組みが重要。岩手労働局からの36協定のアンケートの提出の写しを配布した。

社会をよくするために選挙に行き、社会保障、暮らし、平和を守る政党を応援しよう。そのための学習資料を活用しよう。

〇〇〇〇 代議員（一戸）



一戸支部青年部はキャンプや交流会など活発に行っていて、定期大会も毎回成立している。

7対1看護

〇〇〇〇 代議員（中央）



救急患者が多くベッド稼働率160%。育児時間やパートが時間で帰れない。病休や退職が多い。「4―3」体制を「4―4」に引き上げたい。

〇〇〇〇 代議員（中部）



昨年4月から新病院が稼働し、また2月には機能評価もあり、大変だった。20時間超えは自分の能力がなからと思われる。研修を超勤で書いていいのかわからないところがある。

〇〇〇〇 代議員（胆沢）



基準をクリアするため、外来から看護師を病棟にあげ、外来が手薄に。病棟に補助者がいない。年次がとれない、超勤もある。増員もなく産休や、病

休が出ても補充なし。募集しても応募がない。BLS研修も超勤と認めていない。臨時・パートにも加入を勧め、仲間を拡大していく。

地域医療

〇〇〇〇 代議員（沼宮内）



4月から内科医不在で入院患者は一

診となった。「岩手町の医療と福祉を守る会」では、5月25日に沼宮内病院の現状について、医療局に要請書を手渡し、改善を求めた。その後、入院患者が2桁になったり、7月から内科医が来るという話しも出てきた。地域住民と労働組合が協力して病院を守ることが大事だと実感した。花泉の



機関紙の表彰 今後もがんばります！



夕食交流会にて

取り組みを行っていききたい。

〇〇〇〇 代議員（宮古）



循環器の医師が不在のままで、患者は救急車やヘリで搬送している。そんな中ニセ医師事件が発生した。地域住民が困っている。地域の方と共にがんばりたい。4月に退職者がいて9回夜勤があった。

時差勤務

〇〇〇〇 代議員（遠野）



職場の合意で時差出勤が検討されている。36協定をみんなに理解してもらう取り組み必要。看護必要度は、入力していない。チェックのみ、入力は委託である。組織拡大をとキーキも用意したが8人中1人の加入だった。

〇〇〇〇 代議員（二戸）



耳鼻科外来と透析で時差出勤が開始された。分会討議の結果、試行し、問題あるときには、その都度協議する事になった。

精神科医師3月に1名退職し4名となり、外来の診察（金曜）を休診する予定。精神の2次救急も大変。新採用13人は全員加入。各職場で勧めたのが良かった。

その他

〇〇〇〇 代議員（大船渡）
給食委託問題について



調理師採用がなくなり、委託拡大が心配。調理師の異動も多く、退職者も増えている。仕事の中身が濃く忙しいが、「委託ではなく直営」で美味しい食事の提供に今後も頑張る。

〇〇〇〇 代議員（南光）



人事考課について
目標を3つ挙げて面接したが、面接で7つになり、看護研究もやることになった。師長によってやり方や中身が違っていいのか？



〇〇〇〇 代議員（三戸支部）
母親大会について
6月27日二戸で初めて母親大会が行われる。実行委員に二戸支部書記やOB、県医労の県北地区の協力準備を進めている。ぜひ多くの参加で大会の成功を。



〇〇〇〇 代議員（大船渡）
青年部活動について
2年ぶりに定期大会が成立。ブロック交流会も5年ぶりに全ブロックで開催されるなど活発に動き出して



新委員長の音頭で初のガンバロウ

いる。7月の定期大会、8月のみちのくアクトに職場の先輩から声かけの後押しで参加させてほしい。年に1人1回は何かに参加してほしい。

〇〇〇〇 代議員（三戸）
平和について

これまでは平和活動として毎年、平和行進に必ず参加するよう努力してきた。今年は沖縄平和ツアーに参加し、沖縄の置かれている立場を学習することができ

た。青年部の皆さんもぜひ参加しよう。

○総括答弁○

36協定について

何が超過勤務の対象か、各支部で確認していくことが大事。

パワハラについて

看護労働実態調査によると3人に1人が何らかのパワハラを受けている。人事考課も絡んでくるので、医療局としての、対策を迫っていく。

ストライキについて

12年間お疲れ様でした

12年間執行委員長だった佐々木茂喜さんは今大会をもって退職し、委員長をおりることになりました。これまで私達の先頭に立ち、暖かい笑顔で励ましてくれました。ありがとうございました。



■組合員であるための資格条件からリハビリテーション

第三号議案

県医労規約等の改正について

引き続き、慎重に対応する。

地域医療を守る運動について
地域医療懇談会をOBの力も借り、運動を盛り上げていく。

選挙について

1票が大切。投票へ行こう。

コンセンタに働く職員
の部分削除することに
ついて

リハビリ・センター支部
の廃止に伴う削除

会計規約第16条第1項の
一部改正について

役員活動保証規定の「専
従保証金基準」の4 退

任保証金の「支給の説明」
の③の改正について

■ 甲意見舞金規定第4条(3)
条の改正について

■ 甲意見舞規定第5条に第
2項として文言追加につ
いて

投票総数96票中、賛成
95票、反対0票、白票1
票無効0票で採択されま

2010年度統制委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	〇〇〇〇〇	二戸
中部地区	〇〇〇〇〇	胆沢
南部地区	〇〇〇〇〇	大船渡
三陸地区	〇〇〇〇〇	大槌

した。

第四号議案

永年組合員の表彰

15支部44名の被表彰者
を拍手で確認しました。
記念品として南部鉄器の
急須を贈呈しています。

第五号議案

2010年度財政方針

組合員の減少により非常
に厳しい財政状況になつて
います。その実情をしっか
り受け止めた上で、満場一

2010年度犠牲者救済委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	〇〇〇〇〇	久慈
中部地区	〇〇〇〇〇	中部
南部地区	〇〇〇〇〇	南光
三陸地区	〇〇〇〇〇	宮古

致で採択されました。

第六号議案

2010年度役員及び 各種委員の選出

今年度の本部役員、統制
委員、犠牲者救済委員は、
表の通りです。本部役員は

2010年度本部役員選挙・信任投票結果

投票総数96票(内 有効 95 票、白票 1 票、無効 0 票)

役 職 名	定数	立候補者氏名	信任	不信任	白票	無効
中央執行委員長	1	中 野 るみ子	95	0	1	0
副中央執行委員長	2	〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	95	0	1	0
書 記 長	1	〇 〇 〇 〇	95	0	1	0
書 記 次 長	1	〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
中央執行委員	11	〇 〇 〇 〇	95	0	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	93	2	1	0
		〇 〇 〇 〇	95	0	1	0
		〇 〇 〇 〇	95	0	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
会計監査委員	3	〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	94	1	1	0
		〇 〇 〇 〇	95	0	1	0

定数通りの立候補となり信
任投票となりました。



中野るみ子新中央執行委員長

第七号議案

2010年度

特別中央執行委員の決定

〇〇〇〇氏を、満場の拍
手で特別中央執行委員とし
て確認しました。

退任役員の紹介

■ 中央執行委員長

佐々木茂喜(本部)

■ 中央執行委員

〇〇〇〇〇(胆沢支部)

■ 会計監査委員

〇〇 〇〇(本庁支部)

機関紙コンクール 表彰

■ 艶やかで賞

胆沢支部

■ 手書きですばらしいで賞

遠野支部

■ チームワークでサクラ満開で賞

中部支部

50歳後半の賃金カットか!?

人事院勧告で大幅賃上げせよと集会、デモ、交渉

昨年の国家公務員の人事院勧告は、夏季手当の0.2ヶ月カットが強行され、実際の勧告でも大幅な削減が強行されました。今年の人事院勧告では、「民間企業の50歳代後半と公務の給与が乖離しているので、公務員の給与を引き下げる」という方向が示されています。

7月13日、東北公務関連



「マイナス人勤」阻止!集会のようす

労組連絡会では、「人勤」で最低賃金引き上げ!ワーキングプアをなくせ!官民一致団結でよりよい社会を目指そう!!と人事院東北事務局の入っている合庁前で集会を開催。県庁、市役所前などをデモ行進し、東北人事院事務局との交渉も行いました。集会には、東北各県の公務関連労組(医労連、自治労連、国公労連、教職員組合など)から320人が参加しました。集会では、「負のスパイラルを打ち破ろう」と決意が報告され、代表が人事院総裁宛の要請書を提出し、人事院東北事務局との交渉を行いました。交渉では賃金改善、65歳への定年延長

の問題、教職員の病休が2倍となりメンタル不全が増えている問題、増員がない中で業務量は増え、非常勤職員が増えている実態などが告発されました。人事院事務局は、そうした実態を一定認めつつ、特に日々雇用は問題があり、改善の方向であることを示唆しました。50歳後半の賃金については、「人勤表を動かすのではなく、一定の乗率で調整する方向のようだ、これ以上は知らされていない」としました。

県医労から〇〇副委員長、〇〇書記長が参加し、交渉ではパワハラ対策の早期策定を訴えました。

職場改善めざし、意思統一

本部定期大会以降、7月14日の一戸支部の定期大会を皮切りに11支部で定期大会が開催、および予定されています。

7月16日に開催された中央支部定期大会には91名が出席しました。中野るみ子前支部長(現・中央執行委員長)に替わり、〇〇〇さんが支部長に選出され、初の団結ガンバローで締めくくりました。

規約では本部定期大会後、1ヶ月以内に開催することになっています。

支部定期大会

全支部で早期に開催させましょう。

中央支部定期大会(院内大ホール)



支部定期大会開催(予定)状況

7/14	一戸支部	7/29	二戸支部
7/15	釜石支部		沼宮内支部
7/16	中央支部		江刺支部
	胆沢支部	8/ 4	遠野支部
7/22	山田支部	8/10	南光支部
7/28	高田支部		

第36回岩手県医療研究集会

やっぱり夜勤はこんなにも有害だった



真剣に話を聞く中央支部の皆さん

「みんなで考えよう 医療は誰のもの」をテーマに行われた第36回岩手県医療研究集会は7月17日、盛岡市の水産会館とサンビルを会場に行われました。県医労からは10支部・本部29名、全体では141名の参加がありました。

午前は、分科会と基礎講座が行われました。

基礎講座①

「労働破壊が進む医療現場からのレポート」と題してジャーナリストの藤田和恵さんが講演しました。水産会館大会議室ほぼ満席の参加者は、医療の周辺業務を支える労働者がワーキングプアであることなどの生々しい実態レポートを真剣に聞いていました。

基礎講座②

「診療報酬を学ぶ」と題して、日本医労連の岡野孝信さんが講演しました。診療報酬とは何か、から始まり、2010年診療報酬改定の特徴、さらには今後の課題をわかりやすく話されました。



講師の岡野孝信さん

精神分科会

レポートを中心に、議論が進められました。たくさん意見が出され、時間が足りなくなるほどでした。

介護分科会

「変わりつつある介護制度と今後の展望」と題して、日本医労連の米澤哲さんの講演を聴き、討論を行いました。

全体会

基調報告の後、記念講演は「睡眠のメカニズムと夜勤の有害性」と題して労働科学研究所慢性疲労センター



県医労からもレポートを出しました

1長の佐々木司さんがお話しました。

2007年10月には「夜間交代勤務はおそらく発癌性がある」とWHOが認めていること、デンマークでは夜勤者の乳癌が労災になっていること、「熟睡」はよいが、「爆睡」は危険であることなど興味深く聞きました。スライドを使った楽しい講義と、独特の語り口に、眠気も吹き飛ばされました。



講師の米澤哲さん

全国の仲間と想いを共有 第37回医療研究集会記念金沢

第37回医療研究全国集会は6月18日から20日の3日間金沢市で行われ、全国から1043人、県医労からは3人が参加しました。

1日目の記念講演では、JA長野厚生連、佐久総合病院・地域ケア医科長の色平哲郎さんが「金持ちより心持ち」と題して「混合診療を許せば医療は壊れる」と混合診療への警鐘を鳴らしました。

2日目は12分科会5分散会です。それぞれ熱心な討論がされました。

3日目は作家の落合恵子



会場入口で、南光支部の皆さん

さんが「母に歌う子守歌」と題して講演。家族の立場から母親の介護を通じた体験を語り、高齢者医療や介護をめぐる問題点を投げかけました。

集会のまとめでは、医療・社会保障の再生拡大、平和と民主主義を守る取り組みをいっそう強化し、次回の新潟で再会しようと呼びかけました。

感想▽

多くの参加者と思いを共有することができ、貴重な体験ができた。

日本医労連の田中委員長と記念撮影できうれしかった。来年も再会できると嬉しいかな！

地域医療を守るう 各地の運動を交流

千葉県から住民運動で問題提起も



主催者を代表して鈴木議長があいさつ

「花泉では、無床化計画より先に、民営化の話がされていた」「開業医の先生方との連携が大事」など、各地域で運動している団体や、市民、議員、医師なども含めて、「地域医療を守る」に関わっている県民による全県交流会が、7月25日（日）、盛岡市内「水産会館」で開催され、約百人が参加しました。

この全県交流集会は、岩手

県地域医療を守る住民組織連絡会と地域医療の充実・県民の命を守る連絡会の共催（県社保協、民医連、保険医協会が後援）で開催されました。

最初に、千葉県で地域医療を守る運動をしている「地域医療と公立病院を守る県民連絡会」の桐谷加代子さん（千葉県立病院・看護師）が、地域医療を住民の手で守ろうと問題提起をしました。千葉県内で運動している7団体が集まり、県民連絡会を結成し、会報の発行、集会、宣伝、そして県との交渉を行い、改善を実現した項目もあることが報

告されました。



先進地見学の報告をする紫波の代表

続いて、紫波地域の医療と福祉を守る連絡会から、行政と議員、住民団体がいっしょに先進地見学をしてきたこと、小さな自治体でもできることがある、と報告。千厩病院を充実させる会からは、病床削減に反対し、町民の95%の署名を集め、医療局、県への要請をし、一関市に医師確保の専門部署を設置させ、職員の配置も実現させたことが報告されました。

各地から報告があり、今回は第1回目であり、引き続き交流していくことを確認しました。



県医労女性部第53回定期大会

元気出していってみよう!

新女性部長に○○○○○○さん

7月2日・3日の二日間、県医労女性部第53回定期大会が「ホテル森の風鶯宿」で行われ、代議員、オブザーバーあわせて、18支部・本部91名が参加しました。



来賓には、いわて労連の小野寺蓆子書記と、岩手県母親大会実行委員会の渡辺喜代子実行委員長が激励に駆けつけてくれました。

また、新しく女性部長に○○○○○○さん（大槌・写真）、副女性部長に○○○○○○さん（千厩）、女性部委員に○○○○○○さん（久慈）が選出されました。

討論では、ほぼ全支部から発言があり、ワークライフバランスが提唱されているにもかかわらず、この職場もはたらく女性にとって、厳しい労働環境であることが出されました。各職場の実態を出し合う中で、とくに「36協定」については、みんなで学習し、行動することで職場が変わることを確信しました。また、「厳しいけど、集まってストレスを解消しよう」と、女性部の行事を企画している支部の活動も報告され、元気をもらいました。

【電子カルテ】
電子カルテの研修を深夜

なか日、明けでも入れられたが、交渉で改善させ

た。

○ようやく軌道に乗ったが、新しいシステムが追加されてきている。仕事に落ち着いてから入力するので、超勤が増える。

【休暇】

○勝手に夏季休暇をつけられる。年次を夏季に変更される。

○忌引きを取ろうとしたが調整不能と言われた。

【賃金】

○一時金さがり、モチベーションが低下した。

【時間外勤務】

○超勤が20時間を超えたり、名前を出されると書きづらい。

○始業前の情報収集をしないと間に合わないが、早く出ると「戻って」と言われる。超勤が書けない。

【その他】

○新人は非番で研修に参加しているが、何も言えない状況にある。

平和の願いを こめて

女性部は平和を守る行動をしようと、大会参加者の協力を得て、千羽鶴を折りました。8月3～6日に開催される「原水爆禁止世界大会」へ届けます。



2010年度本部女性部役員

女性部長	○	○	○	○	(大 槌)
副女性部長	○	○	○	○	(千 厩)
書記長	○	○	○	○	(大船渡)
委員	○	○	○	○	(沼宮内)
	○	○	○	○	(二 戸)
	○	○	○	○	(中 央)
	○	○	○	○	(江 刺)
	○	○	○	○	(南 光)
	○	○	○	○	(宮 古)
	○	○	○	○	(本部専従)
	○	○	○	○	(久 慈)

食べて飲んで楽しんで

夕食交流会では、美味しい料理とお酒、そして、楽しいおしゃべりに花を咲かせました。ゲームや出し物の踊りで盛り上がり、初めて話す他支部の組合員とも親しく交流できました。

親子で参加した12人の子どもたちも一緒に食事をして、温泉に入って楽しみました。

記念講演

2日目は、5月にニューヨークで行われた、「NPT 核不拡散条約再検討会議」の要請行動に参加した○○○○○○○さんが、核兵器廃絶を訴えて各国から集まった1万数千人のパレードや、署名行動の様子を写真で紹介しながら報告。核廃絶に向けて少しずつ活動していくことが大事であることを訴えました。



○○○○○○○さん

次に、「私と労働組合～看護の仲間とともに歩んだ日々～」と題して、県医労前中央執行委員長の佐々木茂喜さんが講演。組合員として35年間、本部専従として12年間の活動を振り返って、県医労との関わりをユーモアたっぷりに話してくれました。



佐々木茂喜さん

その中で、「あきらめず、訴えつづけること。自分たちの思いを声に出して、行動していくこと。それが、よりよい方向へ進んでいく」ということを教えてくれました。



飛び入り大歓迎の輪踊り

機関紙コンクール

今年度の機関紙コンクールは、忙しい中で発行した努力に敬意を表して、出展した5支部に賞状と景品を贈りました。どの支部も、女性部の活動が見える内容で、思わず参加したくなるような機関紙でした。



賞状を受け取る胆沢支部代議員

二戸支部 「ねえ ちょっと」
中央支部 「ひろば」
胆沢支部 「いさわ」
南光支部 「はこべ」
宮古支部 「かつぼうぎ」

2009年度県医労青年部 壁新聞



支部への配布用を是非ご覧下さい!!

う、壁新聞を拡大・縮小印刷して各支部へ配布するという案が出されました。縮小しても見やすいよう、手書きではなくパソコンでの作成に至りました。さらに、リーフレットを作成せず、壁新聞を活用することで予算の削減というメリットも生まれました。

6月5・6日、例年行われている県医労青年部壁新聞作りを本部青年部役員を中心に6名で行いました。

一年間の活動をまとめた壁新聞でお伝えしてきました。手作り写真の切り貼りしたり、絵を描いたり、字も手書きで作成してきましたが、09年度版はパソコンを使用して

た。また壁新聞も定期大会や各企画毎にしか貼り出せないため、企画に参加しない人の目に触れていないことがデメリットでした。そこで、多くの組合員に見てもらえるよう、壁新聞を拡大・縮小印刷して各支部へ配布する

青年部活動を伝えます!! 県医労青年部壁新聞作り

作成しました。それには理由があります。例年、青年部で新採用者向けのリーフレットを作成してきましたが、09年度の青年部長・書記長会議において、有効に活用されていない状況が確認されまし



一生懸命作りしました!!

各支部には、この定期号と一緒に届けます。青年部定期大会に参加出来ず見ていない

方は是非、ご覧になって下さい。拡大したポスターも送っていますので組合事務室や掲示板に掲示し、より多くの組合員に見てもらえるよう、支部での御協力をお願いします。

そして、青年部活動に参加したことのない組合員や、非組合員に対し壁新聞を有効に活用し、組織拡大を図り、強い県医労の確立を目指しましょう。

開催間近! 締切迫る!! みちのくアクトin青森

- 日時: 8月20日(金)~22日(日)
- 場所: 青森県大鰐温泉
「青森ロイヤルホテル」
- 締切: 8月6日(金)

急げ~!!



つばやま

5月より育休中。3人目となると安静は難しいですね。子育てしていると、時間の貴重さが身にしみます。日々、がんばっているみなさん、職場の雰囲気が良いなることを祈ります。休み中も新聞送って頂きありがとうございます。

中央支部 トド



待ち望んでいた春も過ぎて、もう夏の季節ですね。「春過ぎて 夏来たるらし 白妙の 衣干したり 天の香具山」。この万葉集の歌、大好きです。

誰の歌か、わかりますか？

ちなみに神田うのは、この方の名前をもらったのだそうです。名前をつけたお父さん、おしゃれだなと思いました。

磐井支部 ベガ

だんだん暑くなってきました。夏季休暇で旅行とか行きたいなー。

磐井支部 匿名希望

六月号パズル 当選者発表

6月号パズル「まちがいは7つ」には13名の応募があり、13名の方が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

支部)



東北地方も梅雨が明け、いよいよ夏本番ですね。暑い夏だからこそ体調管理には気をつけなにと。

大船渡支部 さるぼぼ

とんがらし

二人暮らしの老夫婦がいました。夫が「癌」と宣告され、紹介先の大きな病院に入院し、治療を受けることになったのです。きつく、つらい治療の甲斐なくやがて、小病院へ転院となりました。それは、残された時間を自宅近くの病院で過ごしてもらいたく。日中妻は、自宅へ戻り草木の手入れを、夜は病院で付き添いました。かけがえのない時間を、日常の生活とともに過ごす、穏やかなときがそこにはありました。やがて夫はお盆の中日、大好きな昨日のお祭りの音を聞きとめたかのように、朝日がさんさんとさしこむ病室で静かに息を引き取りました。「今、思い起こしても幸せな時間だった。安らかに看取る事が出来て、あたたかな世話をしていたら、ありがたい

ありがとうございました」と妻は言います。大きな病院は、県立中央病院。小さな病院は、県立大迫病院。その方は、今年6月30日に開催された「明日の大迫の医療を考える集い」の場で、「地域から医療のベッドをなくさないで」と訴えました。▼「地域医療を守れ」は、私たちの願いでもあります。無床診療センター化から1年4ヶ月、「土曜日・日曜日に、具合が悪くなったらどうしよう」夜に行っても診てもらえない。地元住民の方々の医療要求は切実です。いのちの格差があつていいのかと、これまでの診療センターの無床化に憤りを覚えます。▼しかし、住民の方々も黙ってはいません。「地域医療を守れの運動は、今がスタート地点に立つたばかり」なのだと言いきります。▼私たち自身もその運動の担い手です。住民の皆さんの声に耳を傾け、こころをくだき、ともに手を携えていきましょう。

東北労金から

大事なお知らせです。

ポイント景品制度は 今回で終了いたします

家族で合算できます！

いつも(ろうきん)をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
『東北ろうきんポイント景品制度』は、お客様のお取引状況に応じて
ポイントに換算して、貯めていただいたポイントでご希望の景品を
選んでいただく制度ですが、今回の景品交換をもって同制度を終了
させていただきますこととなりました。これまで同制度をご利用いただき
ましたことに感謝申し上げます。今後も皆様にご満足いただけるような
商品・サービスを提供してまいりたいと存じます。
なお、今回は同制度の廃止にあたり、裏面に記載しております景品
対応をさせていただきますこととなりましたのでご確認のうえお手続
くださいようお願い申し上げます。



2010年8月31日(火)までに手続きをお忘れなく！

職場川柳

◇天気予報 明日(あした)ではなく 場所に注目 (集中豪雨)

◇学習会 深夜の実態聞き 舟をこぐ (これで安心)

◇人増えず 給料下げられ もう限界 (50歳以上)

◇時間外 NANDAがウイルス 感染源 (時間外病)

◇年次より まずは取らない? 夏期休暇 (勤務表作成者)

8月の予定

- 3日(火)～6日(金)
原水爆禁止世界大会(広島)
- 6日(金)～11日(水)
岩手平和美術展(盛岡市民文化ホール)
- 7日(土)～9日(月)
全国保育合研(盛岡市内)
- 20日(金)～22日(日)
みちのくアクトin青森
- 21日(土) 支部長会議
- 28日(土)～29日(日)
日本母親大会(福島)

9月の予定

- 4日(土)～5日(日)
岩手医労連定期大会(ホテル大観)
- 7日(火)～8日(水)
看護要求実現全国交流集会(東京)
- 11日(土) いわて労連定期大会(国会会館)
- 15日(水)～17日(金)
日本医労連全国キャラバン
- 17日(金) 支部長会議
- 18日(土)～25日(土)
全労連女性部北欧ツアー
- 22日(水)～26日(日)
いわて労連20周年中国視察旅行
- 23日(木)～24日(金)
日本医労連共済会20周年・全国交流会(横浜)
- 25日(土) 女性部バスハイク



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの
間違った箇所の印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に図書
カードを送ります。送り先
は〒020-0023 盛
岡市内丸1-1、県医労「懸
賞パズル」係まで。締切は8
月末日(必着)です。また、抽
選には関係ありませんが、
ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)
を、ぜひ一言お書き下さい。
県医労新聞で紹介する場合
がありますので、匿名希望
の場合には、その旨を書い
て下さい(ペンネーム可)。
ただし、当選した場合は、記
念品の送り先が必要となり
ますので、支部名・本名の
記入をお忘れなく！